

氏名： 山野 春子 (YAMANO Haruko)
所属： 人間文化創成科学研究科自然・応用科学系
職名： 助教
学位： 医学博士 (1982 東京医科歯科大学) / Ph.D.in Medicine
専門分野： 病態生化学 / Pathologic biochemistry
E-mail： yamano.haruko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

食品機能性成分 / 腫瘍抑制因子 / 血管新生 / 血管内皮増殖因子 (VEGF) / VEGF レセプターファミリー
bioactive food components / tumor-suppressor gene / angiogenesis /
vascular endothelial growth factor(VEGF) / VEGF receptor(VEGFR) family

◆主要業績

総数 (1) 件

・生活環境論 (第9章 健康と病気の予防) 光生館 2008年4月

◆研究内容 / Research Pursuits

前所属先である生活科学部生活環境学科生活工学講座においては、地球環境の悪化に伴って生じた様々な問題のなかで紫外線の影響で増加してきた皮膚障害の予防に関するテーマで研究を行ってきた。

なかでも皮膚障害を予防する目的で開発された様々な紫外線遮蔽加工製品の効果について、生化学的手法による評価法の開発を進めてきた。

平成18年度から同学部食物栄養学科の所属となり、食品機能性成分と腫瘍抑制に関する研究を企画した。日常の食生活で摂取している食品の中で、抗変異原性や腫瘍抑制作用が報告されている食品機能性成分について、血管新生に及ぼす影響を検討する。血管新生はがんの増大や転移の主要な原因となり、がん治療の大きな障害となっているため、ラット肝臓の血管内皮培養細胞を用いて血管新生を抑制する効果をもつ食品機能性成分を探索する。

My research topic is the suppressive effect of bioactive food components on angiogenesis.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部の教育については、前期は食物栄養学科3年生を対象とした「食品製造・保存学実験」、「食品化学実験」、「食品微生物学実験」(いずれも受講生39名)の実験準備ならびに指導補助を行い、提出レポートの添削を分担した。後期は同学科2年生を対象とした「分析化学実験」(受講生39名)の実験準備ならびに指導補助を行った。管理栄養士国家試験の模擬試験実施(4年生は年2回、3年生は年1回)に当たって必要な諸業務を行った。所属研究室に在籍する4年生(2名)に対しては、「食物栄養学輪講」での文献紹介、研究報告についてのディスカッションを通して、卒業論文の指導補助を行った。

大学院の教育については、所属する研究室に在籍する大学院生(博士前期課程8名)に対して、「食品加工所蔵学演習」や読書会での文献紹介、研究報告についてのディスカッションを通して修士論文の指導補助を行った。また、卒業論文発表会、修士論文審査会の準備を行い、これに出席し意見交換を行った。

I instructed undergraduate in Food Processing and Preservation Laboratory, Food Chemistry Laboratory, Food Microbiology Laboratory and Analytical Chemistry Laboratory as research associate.

◆研究計画

がんの増大や転移の主要な原因である、血管新生を抑制する食品機能性成分を探索し、その作用機構を分子生物学的に解析したいと考えている。

がんのみならず、生活習慣病の予防に効果のある食品機能性成分に関するテーマで共同研究ができればと考えている。

◆メッセージ

最近、食品関連分野の企業や大学及び短期大学の食物学科の教員募集要項に「管理栄養士の資格を持つ者」と明記されている場合が多く見受けられます。

本学科は関東圏の国立大学法人として初めて管理栄養士養成機関として認可された学科です。本学科で学び、管理栄養士国家試験に合格し、卒業後は社会の幅広い分野で、その資格を生かして活躍されることを期待しています。また、管理栄養士資格を取得したうえで、大学院に進学してさらに高い研究能力を身につけ、企業や研究所の研究者あるいは大学や短期大学の教員など、専門性の高い分野でも指導的役割を担って大いに活躍されることを期待しています。